

産業

[直接的に関わる事業]

令和元年度 静岡県茶どころ日本一計画対象施策 一覧表

【令和 2 年 3 月 31 現在】

<評価> a:概ね計画どおり実施または完了、b:計画未済であるが実施、c:実施に向けて検討・調査中、d:未実施、-:事業終了・該当事業なし

基本方向	基本の方策	具体的方策	対象となる事業名	①予算額 (千円)	②決算額 (千円)	③計画			④実績	
						期限	計画内容	達成水準 成果指標	実施内容、成果指標の達成状況	評価
A	②	4	茶園地再編対策事業 (茶園改良整備事業) 【農業政策課】	14,000	4,162	R2.3	優良茶園を確保するため、茶園の小規模基盤整備に対して助成する。	茶業経営の基盤づくり	優良茶園を確保するため、茶園の小規模基盤整備に対して補助金を交付した。 申請件数: 2件 交付金額: 557,000 円	a
			茶園地再編対策事業 (茶園共同管理推進事業) 【農業政策課】	14,000	4,162	R2.3	茶園の共同管理を推進するため、共同管理に必要な施設や機械の導入に対して助成する。	茶業経営の基盤づくり	茶園の共同管理を推進するため、共同管理に必要な施設や機械の導入に対して補助金を交付した。 申請団体数: 4件 交付金額: 2,040,000 円	a
	5	茶園地再編対策事業 (補完作物転換事業) 【農業政策課】 【JA】	14,000	4,162	R2.3	茶業経営の安定化を図るため、茶から他作物への転換に対して助成する。 (JA静岡市) 市の補助に1万円を上乗せ助成	茶業経営の基盤づくり	茶業経営の安定化を図るため、茶から他作物への転換に対して補助金を交付した。 申請農家数: 31件 交付金額: 1,565,000 円	a	
		茶共済加入事業 【農業政策課】	3,000	845	R2.3	茶業経営の安定化を図るため、茶共済加入に対して助成する。	茶共済加入面	茶共済加入戸数: 104戸 (引受面積91,497a、補助金額844,543円) 茶共済加入率8.2%	a	
	6	地域拠点茶工場整備事業 【農業政策課】	-	-	-	地域茶業の拠点となる茶工場の機械・施設の整備に対し助成する。	該当あれば実施	令和元年度は新規事業なし	d	
	③	7	お茶の産地づくり推進事業 【農業政策課】	450	402	R2.3	お茶のまちづくりを推進するため、お茶の生産者、流通関係者及び消費者の協働を通じて市内の茶産地のブランド力を高める事業を実施する団体への支援	事業の実施	・まちこプレミアムを日本茶アワード(ドイツ審査)に出品し、ファインプロダクト賞を受賞 ・新商品として、まちこ紅茶と紅茶ボトル缶を開発 ・「地元茶でもてなす会」(R2.2.16)をはじめとした各種イベントでのPR	a
ふじのくに山のお茶100選 【県中部農林事務所】			3,138	2,317	R2.3	静岡県中山間100銘茶協議会により、「ふじのくに山のお茶100選」として新たに選定するコンテストを行い、統一ブランドとして、商品化や販売促進活動を行う。	会員個々の販売促進のための活動支援	・市内の「ふじのくに山のお茶100選」選定品(H30 71点⇒R1 66点) ・静岡県中山間100銘茶協議会のイベントの出展 5回	b	
9		静岡市特産茶の戦略的輸出支援事業 【農業政策課】	7,013	5,451	R2.3	お茶の国内消費が減少し茶価が低迷する中で、海外への輸出の可能性を調査し、茶業者が輸出しやすい体制構築を支援するとともに、海外でも評価される付加価値の高い茶生産を支援	静岡茶の海外取扱量の増加 (H27実績210kg、H31目標: 420kg)	ベルリン・ミラノにおいて市内茶商と連携してプロモーションを行い、取扱量の目標を達成した。 令和元年度実績: 599.35kg	a	
④	10	お茶関連製品創出支援事業 【農業政策課他】	-	-	R2.3	茶に係る新規商品開発や事業展開を行う者に対する支援を検討。	-	事業化への検討を実施	c	

産業

【間接的に関わる事業】

令和元年度 静岡市茶どころ日本一計画対象施策 一覧表

令和 2 年 3 月 31 現在

<評価> a:概ね計画どおり実施または完了、b:計画未済であるが実施、c:実施に向けて検討・調査中、d:未実施、-:事業終了・該当事業なし

基本方向	基本方針	具体的方針	対象となる事業名	①予算額 (千円)	②決算額 (千円)	③計画			④実績	
						期限	計画内容	達成水準 成果指標	実施内容、成果指標の達成状況	評価
A	①	1	農業経営講座 【農業政策課】	310	223	R2.3	農業経営に関する講座等を通じ、農業者及び後継者の育成を図る。	年2回開催	●第1回:7/3実施/参加者87人 (講師)JA静岡市女性部販売所 アグリロード美和 代表 海野 フミ子 氏 ●第2回:2/13実施/参加者82人 (講師)ソフトバンク株式会社 法人プロダクト&事業戦略本部 公共事業推進室 担当部長 西沢 志信 氏	a
			担い手育成支援事業 【農業政策課】	23,000	22,248	R2.3	担い手(認定農業者、新規就農者等)が経営基盤の強化のために農作業の省力化等の事業の実施に対して補助金を交付する。	認定農業者数 620人	●事業実施者 ・認定農業者 44経営体 ・新規就農者 5経営体 ●令和元年度末認定農業者数584経営体	a
	②	4	農地中間管理事業 【農地利用課】	3,000	0	R2.3	農地中間管理機構を通して担い手への農地集積・集約化に取り組む農業者等に対して助成する。	地域集積協力金の執行・交付	協力金交付を予定していた基盤整備事業に係る地権者の同意に時間を要したことで交付要件である2月末までの機構への貸付が整わなかったことから令和元年度分での申請は見送った。その後、同意が得られたため、令和2年度分として申請～交付予定である。	d
			担い手育成支援事業 【農業政策課】	※再掲		R2.3	担い手(認定農業者、新規就農者等)が経営基盤の強化のために農作業の省力化等の事業の実施に対して補助金を交付する。	認定農業者数 620人		
		援農ボランティア事業 【農業政策課】	42	34	R2.3	後継者不足や人手不足に悩む農業者と農業をサポートしたい消費者を結び、営農の継続がしやすい状況をつくる。	ボランティアの派遣人数 140人	ボランティアの派遣人数は当初目標を下回ったが、新規登録者数は56人を確保した。ボランティア派遣人数 124人	a	
		中山間地域直接支払制 【中山間地振興課】	31,000	29,875	R2.3	耕作放棄地の発生を防止し、農地の持つ多面的機能を確保するため、農業生産活動を通じて農地の保全活動及び集落の活性化を図る活動に取り組む営農集団等を支援するため、国の制度である、中山間地域等直接支払制度の交付金の交付する。	交付金の支出等 344ha	48の集落協定に対し補助金を交付し、耕作放棄地の発生を防止した。 交付金対象面積345ha	a	
		多面的機能発揮促進事業交付金 【農地整備課】	40,253	38,033	R2.3	地域における多面的機能支払交付金事業を実施する組織に対し交付金を交付する。	年度計画における負担金事業の完全実施 962ha	活動組織34団体に対し、交付金を交付	a	
		ふるさと農力チャレンジ事業 【農業政策課】	2,200	1,468	R2.3	農業の6次産業化等、農業者等が実施する新事業の創設、所得向上及び農業経営の向上に向けた取組を支援するため、農業者や農業者が組織する団体に対し補助金を交付する。	新商品開発又は販路拡大に取り組んだ件数 5件	当初目標件数は下回ったものの、6次産業化に取り組む農業者に対して支援を行った。 取組件数 4件	b	
		オクシズ元気ビジネス支援事業 【中山間地振興課】	10,000	0	R2.3	人口減少や高齢化等の課題を抱え、農林業の低迷が続く中山間地域において、集落の維持、地域の活性化を実現するため、地域資源を活用した振興事業を計画、実行する団体等に対して補助金を交付する。(補助金交付対象事業化の検討・支援・決定)	新規 2地区	H31年度はこれまでの成果の検証、事業の見直しを実施しており、新規の募集受付を実施していない。新しい補助制度として、R2年度から事業開始予定。	d	
		野生鳥獣被害防除事業 【中山間地振興課】	62,000	46,095	R2.3	野生鳥獣による農林産物被害を軽減するため、農林業者等の防除用資材購入費に対する助成を行う。	野生鳥獣被害防除事業補助金 個人70件 団体60件 地域一体9件	個人94件 団体70件 地域一体8件	a	
8	エコファーマー認定の推進 【農業政策課】	168	146	R2.3	持続性の高い農業生産方式の促進に関する法律に基づき、導入計画の認定を行うことにより環境にやさしい農業生産の振興を図る。	R1認定者数 12名	エコファーマー認定審査会を2回開催し、概ね当初目標の認定者数(11名)を確保した。	a		
	環境保全型農業支援事業 【農業政策課】	3,100	2,736	R2.3	環境保全効果の高い農業生産を実践している農業者に対して交付金を交付する。	環境保全効果の高い農地への支援面積 3,550a	取組面積実績(3,652a)が当初目標の102.9%と上回り、市内の環境保全型農業を推進した。	a		

<評価> a:概ね計画どおり実施または完了、b:計画未済であるが実施、c:実施に向けて検討・調査中、d:未実施、-:事業終了・該当事業なし

基本方向	基本方針	具体的方針	対象となる事業名	①予算額 (千円)	②決算額 (千円)	③計画			④実績	
						期限	計画内容	達成水準 成果指標	実施内容、成果指標の達成状況	評価
B	①	12	茶手揉保存事業 【農業政策課】	360	360	R2.3	茶の製造技術の原点は、手揉製茶にあり、より多くの生産者にその技術を伝え、手揉技術の保存と向上に努め、製品を広く公開展示し、茶業の振興を	計画事業の完全実施	茶製法の原点である手揉製茶技術を後世にまで保存するべく、周知拡大に努めた。	a
			駿府本山お茶まつり事業 【農業政策課】	4,000	4,000	R2.3	茶詰め儀、お茶壺道中行列、口切りの儀等の事業を実施する。	計画事業の完全実施	茶詰め儀、お茶壺道中行列、口切りの儀等の事業を計画どおり実施した。	a
			お茶の美味しい入れ方教室 【農業政策課】	3,904	3,360	R2.3	小学校の総合的学習の時間を利用しお茶の入れ方教室を実施し、お茶の啓蒙・消費拡大を図る。(H30:実施校80校)	実施校数の増加	市内小学校校、78校でお茶の美味しい入れ方教室を実施した。(実施率86.7%)前年度より実施率は下がったものの、8割以上の小学校で実施した。	b
			お茶で学ぶ静岡型人材の育成 【教育センター】	427	404	R2.3	家庭科の学習が始まる5年生を中心に、1年を通じてお茶の入れ方を学ぶ。	お茶を取り入れた学習の機会を設けた小学校数86校	市内の小学校86校へ茶葉を配付し、全学校で活用した。授業を通してお茶に親しむことができた。	a
			学校給食「お茶」提供事業 【学校給食課】	2,404	2,312	R2.3	給食の時間に、お茶を提供する。お茶パックを各期(4,9,12月)に配付し、各学校でお茶を提供する日を決め、実施する。各学校の希望により、年間1学級につき、60パックを基本として、最大180パックを配付する。	お茶の提供の継続	各学校の希望により、年間1学級につき20~180パックを4月、9月、12月の3回に分けて配付し、各学校で提供する日を決めて、給食の時間にお茶を提供した。	a
			婚姻家庭に急須とお茶をプレゼント 【茶業振興協議会】	-	-	R2.3	婚姻届を提出した新しい世帯に急須と静岡市のお茶をプレゼントしお茶の広がりを深める。	2,000組/年	急須の贈呈数は2,056組。引換率は63.6%。目標の贈呈数を達成することができた。	a
			「お茶のまち静岡市」冊子作成 【農業政策課】	600	317	R2.3	お茶の種類・歴史・効能などを紹介する市独自のお茶紹介冊子を「お茶の美味しい入れ方教室」などで配布し活用するため、冊子の増刷を行う。	冊子の増刷	「お茶のまち静岡市」冊子第11刷を改訂の上、6000部作製し、「お茶の美味しい入れ方教室」などで活用した。	a
			生涯学習施設お茶講座 【生涯学習推進課】	-	-	R2.3	生涯学習施設等において、市民(小学生、一般など)を対象としたお茶を学ぶ講座を開催する。	事業の実施	生涯学習施設等において、市民(小中学生、一般など)を対象に、お茶の入れ方や煎茶体験などの講座を開催した。 ○講座回数 22回 ○参加者数489人	a
13	「静岡市流おもてなし」茶器・冷茶機・茶娘衣装の貸出 【農業政策課】	-	-	R2.3	保有する茶器・冷茶機・茶娘衣装の貸出を実施する。	事業の実施	庁内外から貸出依頼があり、茶器・冷茶機・茶娘衣装の貸出を実施した。	a		

<評価> a:概ね計画どおり実施または完了、b:計画未済であるが実施、c:実施に向けて検討・調査中、d:未実施、-:事業終了・該当事業なし

基本方向	基本的方向策	具体的方向策	対象となる事業名	①予算額 (千円)	②決算額 (千円)	③計画			④実績	
						期限	計画内容	達成水準 成果指標	実施内容、成果指標の達成状況	評価
B	①	13	静岡市お茶の学校 【農業政策課】	528	309	R2.3	お茶のまちづくりを担う市民サポーター育成のため「静岡市のお茶」について様々な分野から構成された総合的な通年講座を開催する。	講座の開催 7回	講座を7回実施。 令和元年度受講生22名のうち、18名が卒業。 市民サポーターの活動の指標の一つ、市・茶関連団体主催事業補助の参加者は13名。	a
			お茶に親しむ日事業 【茶業振興協議会】	-	-	R2.3	毎月1日をお茶に親しむ日とし、消費者がお茶に接する機会を多くし、お茶の消費拡大を図るとともに事業PRも積極的に実施する。	事業の実施 (啓発用ポスター・チラシを作成し周知を図る。)	34店舗・施設が事業を実施。 ホームページにおける事業実施店舗・施設の周知を実施した。	a
			茶販路拡販事業 【商業労政課】	3,000	2,005	R2.3	静岡のお茶の消費拡大のため、消費者に対し、静岡のお茶に関する情報を提供・宣伝・普及させるイベント等の事業を実施する「静岡茶商工業協同組合」に対する補助金交付	イベント等の参加者数(イベントにおけるお茶提供数とお茶の入れ方教室の参加者数の合計)	イベント等の参加者数:43,818 (内訳) イベントにおけるお茶提供数:43,500 お茶の入れ方教室の参加者数:318	a
			静岡駅地下呈茶イベント 【茶業振興協議会】	-	-	R2.3	新茶時期やお茶の日に市民・来静者の行き交う静岡駅地下広場で呈茶イベントを行い、消費拡大を図る。	事業の実施	新茶時期および秋のお茶シーズンには、協議会として静岡茶商工業協同組合主催のイベントに茶つきり娘を派遣した。	a
			登呂博物館呈茶サービス 【文化財課】 (登呂博物館)	-	-	R2.3	ゴールデンウィーク期間に、登呂博物館を訪れる観光客に対して、静岡ならではのおもてなし(呈茶サービス)を実施する。	事業の実施	平成31年4月27日～4月29日、5月3日～5月5日に静岡市登呂博物館において、静岡市茶つきり娘による呈茶イベントを実施した。呈茶数5,044人	a
			美術館で静岡茶を「芹美であじわう静岡茶」 【文化振興課】 (芹沢銈介美術館)	232	232	R2.3	美術館入館者に日本茶インストラクターによる呈茶サービスを実施し、美術鑑賞と静岡茶を楽しんでもらう。	①5月(ゴールデンウィーク)4日間実施 ②8月(土・日)7日間実施 ③2月(しだれ梅の開花時期)3日間実施	①5月3日、4日、5日、6日に実施(4日間) 呈茶人数:582人 ②8月3日、4日、10日、11日、12日、17日、18日に実施(7日間) 呈茶人数:677人 ③2月8日、9日、11日に実施(3日間) 呈茶人数:266人	a
B	②	14	お茶の日記念事業 【農業政策課】	4,096	4,096	R2.3	静岡市のお茶に所縁の深い期日を「お茶の日」として制定するとともに、その周知や静岡市のお茶に触れ合う機会を創出することにより、静岡市のお茶及び喫茶文化の普及を図る。 【R1内容】静岡市お茶まつり開催 各種団体事業との連携	お茶の日の市民への周知、記念事業の実施	静岡市お茶ウィークを中心に、市主催事業、他団体主催事業合わせて38事業を行い、静岡市「お茶の日」の普及・啓発を実施。	a
			お茶に関する図書の展示 【中央図書館】	-	-	R2.3	お茶ウィークの前後に、図書館で所蔵している図書のうち、お茶に関するものを中央図書館展示コーナーにて展示、紹介する。	図書の展示	10月24日(木)から11月26日(火)の期間でお茶に関する図書資料の展示を実施した。その結果、お茶の淹れ方についての本などが貸出された。また静岡市が発行するお茶関係の冊子も配布した	a
			学校給食で「茶」を使った料理の提供 【学校給食課】	-	-	R2.3	新茶の時期や「静岡市お茶の日」、「ふるさと給食の日」などに、学校給食で茶を使った料理を提供する。	料理の提供	新茶の時期や「静岡市お茶の日」、「ふるさと給食の日」などに、学校給食で茶を使った料理を、全31施設で延べ306回提供した。	a
			生涯学習施設お茶講座 【生涯学習推進課】	※再掲						

生活/文化

[直接的に関わる事業]

令和元年度 静岡市茶どころ日本一計画対象施策 一覧表

【令和 2 年 3 月 31 現在】

<評価> a:概ね計画どおり実施または完了、b:計画未済であるが実施、c:実施に向けて検討・調査中、d:未実施、-:事業終了・該当事業なし

基本方向	基本 的 方 策	具 体 的 方 策	対象となる事業名	①予算額 (千円)	②決算額 (千円)	③計画			④実績	
						期限	計画内容	達成水準 成果指標	実施内容、成果指標の達成状況	評価
B	②	15	お茶・スイーツの創作 【農業政策課】	-	-	R2.3	菓子業界と茶業界とのマッチングによる「静岡市」ならではの新たなお茶・スイーツの創作・発信に向けた検討	-	事業の実施手法等について検討	c
		16	静岡お茶カフェ情報発信事業 【農業政策課】	500	429	R2.3	静岡お茶カフェの情報を集約、発信	-	冊子「静岡お茶カフェ」を改訂し、施設等に配布し、情報発信した。(5,000部)	a
	③	17	お茶を取り入れた健康づくり 【農業政策課他】	-	-	R2.3	実施に向けた検討	-	事業の実施手法等について検討	c
			お茶の効能情報発信事業 【農業政策課他】	-	-	R2.3	お茶の“効能”を活かし情報発信を行う。	-	SNS等を活用した情報発信方法等について検討	c

生活/文化

[間接的に関わる事業]

令和元年度 静岡市茶どころ日本一計画対象施策 一覧表

【令和 2 年 3 月 31 現在】

<評価> a:概ね計画どおり実施または完了、b:計画未済であるが実施、c:実施に向けて検討・調査中、d:未実施、-:事業終了・該当事業なし

基本方向	基本の方策	具体的方策	対象となる事業名	①予算額 (千円)	②決算額 (千円)	③計画			④実績	
						期限	計画内容	達成水準 成果指標	実施内容、成果指標の達成状況	評価
B	①	12	伝統文化寺子屋	27,343	26,578	R2.3	日本の伝統文化である「茶道」や伝統芸能を、ワークショップ形式で親子で体験する。	事業の実施	実施日:8/3(土)・8/4(日) 内容:市内小学校児童及び保護者に対し、煎茶・抹茶・琴の体験を提供した。茶道における作法に加え、お茶の美味しい入れ方等、普段の生活に活かせる知識も紹介した。 参加者数:218人(定員200人/申込者数639人)	a
			【文化振興課】	の一部	の一部					
		社会科副読本改訂事業	4,465		R2.3	小中学校が社会科の授業で活用する副読本の中に、お茶を教材として取り上げ編集し、児童生徒に配付する。	小・中学校 社会科副読本 改訂委員会を年間4回実施	小中学校が社会科の授業で活用する副読本の中に、お茶を教材として取り上げ編集し、小学校3年生と中学校1年生に配付した。	a	
		13	静岡市民文化祭 「市民大茶会」 「茶道大会」	3,245 の一部	3,245 の一部	R2.3	5月から6月にかけて実施する市民文化祭内の一事業として、「市民大茶会」「茶道大会」を実施する。	事業の実施	実施日:茶道大会 5/26(日) 清水テルサ茶室 市民大茶会 5/26(日) 紅葉山庭園茶室 参加人数:茶道大会 880人、市民大茶会 420人	a
	②	16	ふるさと農カチャレンジ 事業	※再掲						
			【農業政策課】							

令和元年度 静岡市茶どころ日本一計画対象施策 一覧表

都市/交流

[直接的に関わる事業]

【令和 2年 3月 31 現在】

<評価> a:概ね計画どおり実施または完了、b:計画未済であるが実施、c:実施に向けて検討・調査中、d:未実施、-:事業終了・該当事業なし

基本方向	基本方針	具体的方針	対象となる事業名	①予算額 (千円)	②決算額 (千円)	③計画			④実績	
						期限	計画内容	達成水準 成果指標	実施内容、成果指標の達成状況	評価
C	①	18	「お茶のまち静岡市」HP活用事業 【農業政策課】	960	960	R2.3	「お茶のまち静岡市」ホームページ維持管理及び情報発信 【R1内容】 HP・Facebookによる情報発信	ホームページアクセス数55,800	ホームページアクセス数は102,071件。ホームページへの導入策としてのFacebookは48件の投稿を行った。	a
			組立式茶室活用事業 【農業政策課】	-	-	R2.3	市内外における「お茶のまち静岡市」の認知度向上を図るため、保有する組立式茶室「受庵」をイベント等で活用・貸出を行う。	事業の実施	2020東京オリンピック・パラリンピックの期間中に設置される2020ホストタウン・ハウスのプレイベントとして開催された「2020ホストタウン・ハウス ショールーム」への出展で活用し、「静岡市のお茶」のPRに役立てた。	a
			聖一国師顕彰事業 【農業政策課】	669	360	R2.3	聖一国師は静岡市出身の高僧で、現在、全国一の生産高と高品質を誇る静岡茶の始祖であり、本市の茶産業や茶文化の発展に尽くした偉人である。この偉大な功績を広くPRし後世に伝えるため、顕彰事業を行う。	事業の実施	静岡市内で開催された聖一国師顕彰会in静岡に参加し、水磨様木製模型を紹介のほか、国師の功績について周知を図った。	a
	②	19	JR静岡駅情報発信事業 【農業政策課】	4,669	3,867	R2.3	① JR静岡駅構内での新茶時期、お茶のまち静岡市等のPRを実施 ② 北口中央地下道階段上に横断幕を設置し「お茶の日」等をPR ③ 北口地下イベント広場等で「お茶のまち静岡市」のPR	「お茶のまち静岡市」の周知	JR静岡駅構内、北口中央地下道階段上、新幹線コンコースにて、横断幕・フラッグの掲出、ガラス面ラッピングを新茶時期と秋季に実施した。	a
			喫茶一茶運営事業 【静岡茶商工業協同組合】 【農業政策課】 【広報課】	-	-	R2.3	お茶コーナーにおいて、静岡市のお茶情報の発信、静岡市のお茶を提供する喫茶・物販等を行う。運営は、静岡茶商工業協同組合による。	静岡のお茶に関する文化的知識の普及、啓発を図り、静岡市の茶産業の振興及び静岡市の都市イメージを向上させる。R1年次利用者数：39,000人	喫茶一茶利用者は57,091人と目標を上回った。	a
			観光案内所での茶どころPR事業(旧：お茶の香りによる茶どころPR) 【観光・国際交流課】	24,082の一部	24,082の一部	R2.3	静岡市総合観光案内所(JR静岡駅北口)にお茶の香りをさせる機会を設置し、観光客に対しPRを実施する。	静岡市の茶産業の振興及び静岡市の都市イメージを向上させる	計画どおりに事業を実施し、観光案内所を訪れた観光客に対して茶どころである静岡市をPRした。	a
			茶業界・タクシー業界連携事業 【茶業振興協議会】	5,970	5,970	R2.3	本市茶業界・タクシー業界が連携し、市内を走るタクシーを通じた情報発信等を行うことにより、「お茶のまち静岡市」のイメージ強化を推進する。	事業の実施	ラッピングUDタクシー4台を導入した他、UD車両ではないタクシーへのラッピング施工を2台実施。また、乗務員への研修を4回実施した。統一宣伝茶(一煎パック)の提供を毎月1日及びタクシー業界でのイベントで実施した。	a
	20	首都圏プロモーション事業 【農業政策課】	3,507	373	R2.3	2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、首都圏に対し「お茶のまち静岡市」の魅力を発信し、「静岡市のお茶」の認知度の向上および販路拡大を図る。	事業の実施	8月に八芳園にて「2020ホストタウン・ハウス ショールーム」に出展し静岡市のお茶のプロモーションを実施した他、WeWorkにて呈茶イベントを実施した。	a	
		宿泊施設等での「静岡のお茶」提供支援事業 【農業政策課】	-	-	R2.3	「静岡のお茶」の提供に積極的な宿泊施設・飲食店等の情報を集約・発信することにより、来静者等が「お茶のまち静岡市」や「静岡市のお茶」に触れる機会の増加を推進する。	事業の実施	「静岡市のお茶」の提供推進及び対象施設等の情報をお茶のまち静岡市ホームページで発信	a	
		景観茶園保全事業 【農業政策課】	-	-	R2.3	「お茶のまち静岡市」を代表する景観を誇り、来静者等の訪問が期待できる茶園を保全することにより、「お茶のまち静岡市」のイメージ強化を推進する	関係団体との協議実施	関係団体との協議未実施	d	

<評価> a:概ね計画どおり実施または完了、b:計画未済であるが実施、c:実施に向けて検討・調査中、d:未実施、-:事業終了・該当事業なし

基本方向	基本方針	具体的方針	対象となる事業名	①予算額 (千円)	②決算額 (千円)	③計画			④実績	
						期限	計画内容	達成水準 成果指標	実施内容、成果指標の達成状況	評価
③	21		お茶ツーリズム推進事業 【農業政策課】	3,149	3,149	R2.3	来静者等の受入に積極的な茶農家・茶商等を対象とした講習会・意見交換会等の実施、及び、お茶ツーリズムに関する情報発信をすることにより、お茶ツーリズムに取り組む茶農家等の増加及び対応等の向上を推進するとともに、体験利用者の利便性を向上させるための相談・受付窓口を開設する。	勉強会等の開催及び体験利用者向けの相談・受付窓口の開設	お茶ツーリズムの受入調整に係る総合相談窓口として、「静岡茶巡りデスク」を設置・運営するとともに、窓口の周知を図るためのリーフレット(日・英)の制作、及び体験スポットをまとめた「お茶こんちは！」の一部改訂を行い、各所で配布することで情報発信を行った。また、お茶ツーリズム実施先の質の向上のため、全2回の勉強会を実施した。	a
			静岡型体験観光推進事業 【観光・国際交流課】	3,929	3,929	R2.3	静岡型体験観光推進事業において、お茶に関連したプログラムによる観光客誘致を図る。	体験型観光の振興	首都圏の学校関係者を対象にお茶摘みなどの体験プログラムを紹介するモニターツアーを実施した。また国内(塩尻市、横浜市、八王子市等 35校)・国外(台湾・中国)の学校関係者や旅行業者を訪問し、本市での教育旅行や体験プログラムをPRするなど、お茶をはじめとする本市の魅力をPRした。上記誘致活動の成果により、40校2,540人に対してお茶摘み体験のプログラムを提供した。	a
			茶業界・タクシー業界連携事業 【茶業振興協議会】	※再掲						

<評価> a:概ね計画どおり実施または完了、b:計画未済であるが実施、c:実施に向けて検討・調査中、d:未実施、-:事業終了・該当事業なし

基本方向	基本の方策	具体的方策	対象となる事業名	①予算額 (千円)	②決算額 (千円)	③計画			④実績	
						期限	計画内容	達成水準 成果指標	実施内容、成果指標の達成状況	評価
C	①	18	農水産物消費拡大促進事業 【農業政策課】	1,550	1,160	R2.3	情報誌やホームページを活用し、本市の農水産物の発信と販売促進に取り組む。	HP「ZRATT O!しずおか」を介したリンク先(農業者HP)へのアクセス件数 6,600件	ニュース記事の更新を86回(月平均7回)行い、前年度比19%増のアクセス数となった。 アクセス数 6,831件	a
			シティプロモーション推進事業 【広報課】	40,451の一部	32,751の一部	R2.3	お茶をはじめとした本市の魅力を国内外の人々、来訪者並びに市民に向けて情報発信する。	シティプロモーションの推進	・さくらもこ氏のシティプロモーション用イラスト名刺や、ウェルカムフラッグに、お茶畑や茶摘みのイラストを使い、配布及び掲示した。 ・静岡市シティプロモーションサイトでPRした。 ・首都圏でのシティプロモーションの際に静岡市のお茶を提供し、PRした。	a
			シティプロモーション推進事業(海外プロモーション分) 【観光・国際交流課】	6,477	4,691	R2.3	海外における各種プロモーション事業でのお茶に関する情報を発信する。	事業の実施	【韓国向けプロモーション】 宵茶や茶氷などの店舗取材してもらい、韓国語ブログでその様子を発信した。 【台湾向けプロモーション】 インフルエンサーを招請した際に茶園(茶の間)取材してもらい、その様子を発信した。 【タイ向けプロモーション】 SNSを活用した情報発信の取材で茶園(茶の間)を訪問し、その様子を発信した。	a
			オクシズプロモーション事業 【中山間地振興課】	8,674	7,784	R2.3	静岡市中山間地域＝オクシズの地域や農林産物等の魅力情報を、広く市内外に向けて発信する。	オクシズプロモーションの推進	首都圏での地域の魅力発信イベントへの出店等、オクシズ関連のPRイベントを通じ、茶を含めた農林産物の魅力情報を発信した。	a
			姉妹都市等交流事業 【観光・国際交流課】	7,834の一部	7,834の一部	R2.3	姉妹都市等へ職員を派遣するときに「静岡市のお茶」を手土産にする。また、姉妹都市からの訪問団や大使館等の公式訪問者を受け入れた際に「静岡市のお茶」でもてなす。	ストックトン市親善使節団の派遣及び大使館等関係者の受入	・海外からのMICEキーパーソン受入の際に、市内お茶農家にてお茶飲み比べ体験を実施した。 ・奉賢区政府団などの公式訪問者受け入れの際には茶葉を進呈したほか、バリセミナー受入の際にはお茶の缶を配布し、「静岡のお茶」をアピールした。	a
			客船寄港歓迎事業 【海洋文化都市推進本部】	55,700の一部	51,200の一部	R2.3	客船が清水港に寄港した際、お茶の販売ブースをはじめとした出店や、外国客船に対するお茶会の体験などの歓迎事業を実施する。	事業の実施	客船が清水港に寄港した際、お茶の販売ブースをはじめとした出店や、外国客船に対するお茶会の体験などの歓迎事業を実施した。	a
	②	20	日本平公園整備事業 【公園整備課】	—	—	R2.3	日本平山頂部に整備した日本平夢テラスから、静岡県と連携しながら、お茶をはじめとした静岡市の魅力を発信する。	事業の実施	日本平山頂部に整備した日本平夢テラスにおいて、静岡県で整備したシンボル施設の2階に静岡のお茶を楽しむことができるフロアを整備し、静岡市で整備した展望回廊に静岡市のお茶に関する案内板を設置するなどして、県市連携で静岡の魅力を発信した。	a
	③	21	ふるさと農力チャレンジ事業 【農業政策課】	※再掲						

区・社会実験

令和元年度 静岡市茶どころ日本一計画対象施策 一覧表

【令和 2 年 3 月 31 現在】

<評価> a:概ね計画どおり実施または完了、b:計画未済であるが実施、c:実施に向けて検討・調査中、d:未実施、-:事業終了・該当事業なし

基本方向	基本的方策	具体的方策	対象となる事業名	①予算額 (千円)	②決算額 (千円)	③計画			④実績	
						期限	計画内容	達成水準 成果指標	実施内容、成果指標の達成状況	評価
区独自の地域資源を活かした事業			① 葵区魅力づくり事業 【葵区地域総務課】	12,000 (一部)	7,013 (一部)	R2.3	事業検討中	事業を企画し、実施	葵トラベラー及び葵チャレンジャーにより、下記地域住民活動への市民参画を促進し、地域住民及び地域企業による茶のPRを通じて実施するまちづくりを支援した。 1 大川お茶まつり(主催:大川お茶まつり実行委員会) 2 別所平茶畑ハイキング(主催:松野学区自治会連合会) 3 お茶感謝祭(主催:清沢地区自治会連合会) 4 内牧大茶会(主催:安倍口学区自治会連合会) 5 足久保里まつり市(主催:足久保学区自治会連合会)	a
			② 駿河区魅力づくり事業 【駿河区地域総務課】	-	700 の一部	R2.3	事業検討中	事業を企画し、実施	【駿河区旬穫祭in葵スクエア】 ・静岡茶の販売を行った。(来場者2,600人) 【駿河区フォトロゲイニング】 ・参加者に丸子のお茶の呈茶サービスを行った。(参加者320名)	a
			③ 清水区魅力づくり事業 【清水区地域総務課】	12,000 (一部)	11,538 (一部)	R2.3	各種イベント出店時における、呈茶サービス等を通じた静岡茶PRの実施	事業を企画し、実施	・9/7上田市で行われたイベントに出展し、清水区産の茶葉による冷茶の呈茶サービスを実施した。 ・12/18東京交流会、1/11TGCLずおか、1/18J-stepマルシェに出展し、静岡市の茶農家グループ「CHA NO-KA」が作った、生産者の顔写真入り煎茶パックを配付するなどしてPRした。	a
社会実験事業				-	-	-	「お茶のまち静岡市」のブランディングの普及戦略として位置づけられている“お茶+X”を増やす社会実験を必要に応じ検討	-		